

## <306> 観点「思考・判断・表現」の学習評価の読み取りの基準のエッセンスは？

観点「思考・判断・表現」で学習評価する読み取る基準例を、ペーパーテストやワークシートなどの記載内容から読み取る基準で示してみます。自分の授業のねらいに照らして、資料で示した基準例の必要な項目を選んだり、★の数の達成段階をアレンジしたりして、自分なりの読み取り基準を作成してはいかがでしょうか？

### 資料：観点「思考・判断・表現」で学習評価する読み取る基準例

達成段階	★★★★	★★★	★★	★
	A	B <sup>+</sup> ○ B	B	C
発見した問題に対して課題の設定の状況	視野を広げ、違った視点で問題を発見し、課題の設定ができている	発見した問題に正対して、複数の課題の設定ができている	問題の発見や課題の設定が指示された通り出来ている	出来ていない
設定課題と解決策の関係	解決策が、課題に対し複数準備できている	出来ていないが違った内容が評価できている	指示された通りだが、まあまあ出来ている	出来ていない
習得した知識・技能の活用状況	学習した知識・技能以外も含め活用ができている	学習した知識・技能を選び上手に活用している	学習した知識・技能を指定して活用出来ている	単なる知識・技能の感想や羅列
使用条件・状況判断が出来ている	諸条件場面に応じて適切に判断し一貫性があり、できている	示された場面を判断できている	条件・状況の必要性を理解している	条件・状況の必要性が感じられない
問題解決思考・判断・表現	基本	諸条件で解決していく問題解決の重要性を意識している	授業内の限定した条件で、問題解決の重要性を意識している	正解的・知識的で感想的な問題解決を意識している
	生活の場	授業外の生活や社会・産業の場での技術例を意識している	地域や家庭の場での問題解決する技術例を意識している	授業内の場での問題解決する技術例を意識している
	根拠	あらゆる場の技術を想定し、根拠が表現されている	授業内の技術に限定して、根拠が表現されている	根拠が薄いが技術の根拠が表現されている
	使用目的	生活を豊か・使用する人の便利さなど授業の使用目的を越えて意識している	授業内の条件に限定した範囲で使用目的を意識している	根拠が薄いが使用目的を意識している
	作業場面	作業場面で問題が生じた時に、自分の力で工夫しながら解決できている	作業の失敗や反省を生かし、その理由・根拠が客観的に評価できている	作業を、慎重・正確・丁寧・安全・確かめながら等一面的な捉え方で評価している
	環境の意識	地球規模の環境について、根拠を基盤にして意識している	身の回り生活の環境を意識している	限定した環境問題を意識している
	表現の一貫性	相反する問題を扱っているが問題解決に一貫性がある	限定した問題解決を扱っているが問題解決に一貫性がある	問題解決を扱っているが表現に一貫性がない